|記書||本||あるが、大明大報省と意見の交

緑江開

方財政

森林開發 約四分の一を得ち、疑りは内学して新知識を得て来た

で天谷の皆宜を帝同、十二日朝し

成歸の監總野

まる、同語語は対事、養養的技術は対対性過視を棄れて宇島を

向船よりクユナード・ とけてゐるが、十一日正

泛供奉申上げ、戦中で兩殿下港と共に採船、サザンプトン

戦の全面

一候補總數は七百七十二

結局八百名程度に止まるか

即名代宮同妃兩艘下の御花船【ロンドン十一日同盟】 狭父 近東へ東へと平穏快適な シイーン・メリー競は大西洋 この公記にロンドン福留那人定を総上げることとなった、

~ 御名代宮殿下

今夜サザン

報告に変字集前の上十二日 総上投票をなす投票 がに射日につき、内括 がは、対策をなす投票 がある。

を保ることになった

でたが、之によると二十四日

來月上旬京城で開催

照鮮合同電氣役員會

を開催、左の二項を決定すべ

鮮の上これが中偏袒政策を設け

會社殿立に関する本地

ユ蘇聯大使語る 展後の戦いを置けてゐる、レオ プラッキル十日同盟」白耳森州 ドクレル氏二、一騎打を中心に自耳環戦界の暴れん切いオ 白國首相勝たん



今度の大演習

動車で大陸が動いた、同日夕烈躍

た杉山原樹は十二月午町八時目

獨潜水艦二隻出

【京都出語】新任奉告のため西ト

杉山陸相大阪へ

『小戦をどつきり持つてるか

据さ十日キール語より潜水艦リー

『小戦をもつたらい 『どう、そちは、

は中立として立つことになつたの間東京第三国金融候補緊団保沢氏

加、商船の保護版にスペイン各法 脳視に置つてめるドイツ腹談に参 近海に出動せしめた、麻臓は北海 十五號及び日二十七號をスペイン

殊更新味なし

貴族院方面の批

【東京電話】 昭和曾では十二日第

向上に使つ外はないだらう 僧のればならぬが一面に於て敬育の 和、ればならぬが一面に於て敬育の 和、景教の取締は現在のやうな起度 げて 八年異動は今の所考へてゐないと 一酸るものと度似してゐる

分原成器者「のごみ」で入城 類島栗市、鉄道連盟の諸門では南朝鮮人間型、砂原江開

に既いて継承するものと象型さ が大連方面では橋鼓の群聴就

ぎょことを選択として病師でも相称者へねばならの事だと思う **議会會の空**いけないとぎよ説論が脱んで、人物如何と はずればす

議會解散その他

長寒の軍戦部と問題する語である。近年朝軍を司令官、第二十聯盟、江本樹縣の上、十四日昭禄が入城 民域時間列車で成男、乳育、心臓 車艦足杯シン

天地玄黄 (安田銀行京城支店

大野總監釜山で語る

鮮満 巻方に玉子英風つい

前八時四十分第一等指地たるシン 和 軍艦足続は建定連り十一日年

以来八日接りである、軽組成一行カボールに入船した、極須賀出建

【シンガポール十一日同盟特派部

ガポールへ

おい、併之、郷質は見かつた

あた。湖北は阿潔に恋きつけられ

市城中尉大奮戰記

常時内閣の職相となったか。何が彼を代野もつけられぬ暴れん場が如何にして非

地震性力な活動で、またと思くほこと、現場一番等の大変観点で、一般ないないが、の大変観点に、神か成か? 一般は一般では、大変には、一般ないないが、ないないないが、ないないないが、ないないないないないないない

して刑を停めて

ってをりますが、

も否取さんへも

ますか、わつしも

成田さんから此方

記録はつけたりだ

六大學野球主將が

熱凍あり、野郷ブナンの見逃せぬ名神事が置る癥織の一乗・命傷がり、恐臓ありが置る癥織の一乗・命傷がり、恐臓あり、恐臓の

「田那が満なのだよ、」

『胆療を見つけてびいひろひろと からい。派を見せて、変やりと笑

を打し

美術組織な思いつき、 その活

家は小供に差子をして、

聖見せて、『た

TEN 30

全国教育家美談集

師の恩●戻の合唱歌--表野男子のけば●校長先生の鐘-田上思

わたくしも女は

速に決定せん

うが、失戦でなけ

門でございます。 いたりで、からし めりますから、や

實物を御館下さい ―― 大寶夏五十銭其の他トテモ此處には掛け難し!!

和機工大讀切傑作

誕魚河岸の男

曜削 山田

南洋蘭・ラデオ

三甲鄭賀

鮫鞘門太郎

郞 作

通 勢 &

(29)



源七は阿護に興味を感じてゐる

ので、小願の口を得がなくてはな

るのです、庭那、二文 や、くれてやる

『この経近の人ちゃないね、

や三文もや駄目だよ、こんな口器 高いものだよい 百くれてやるか

滑稽小説傑作集

心も素明し

文字笠

琴寺 風澤

の遺建

孝中 治野

焼芋とお懐らん離り

阻はあるが此方の用 來たの もつた。阿閦が顕

ますかい た

して、それから

取さん、今日は わ、一昨日は鹿 (で)もう|人のあなた!!! 母と女秘書館

大長篇小説

はいる。

がは大くなるという。金江戸五人男が、一般江戸五人男が

中の矢島本所殿林局投は十日午後朝鮮城栗開起館赴港立間題で東上 矢島局長語る

けふ總督と會見

市要政策については近く国連総合 即機関として設置される企業が

まづ作館へ廻りる。 でござります、わ

の作成トついてはそれた人物版が同である。而してこれが其機

みようかと思ひ

結城大藏大臣出世物語

肥瓦か三十枚 脱記のまま観見され とは初めてのことである、

幺海で投身自殺

若草町居住の吉田源一郎氏

遺論に回く「都合により自決」

んも何方だか私共は存じませんすが、宛名の田島さんも資格さ

栗種屋殺さる

微怒した亭主の一

散瓦の一つ)

美貌の人妻を犯し

主基丸坐礁

業就學習內面士潘麻原神合節行中去る十月午前六時半宮平北加岩面

ラタポストを指載しが行不可能と べると総のは應条々々に辿らかさい。 の影館製作成が新主義気(三六 込むと同時にバター と怪滅は変にない。 といれなな解析を調がしまれています。

ツと魔の手

ト往十里町の精米所に怪盗

州族位の青年が訪れを密度でたま一瞬への結果「川生れ会弘鏡」

三百餘圓を掻攫

病院では本町張へ通報と同様で取一ゐることが神り殿東延及中らんから~と金を強整するので同一同様子説で所内含所を荒し

安東の朝火事 刑務支所焼ける

女囚作業場から出火

TELED - METERS TREAM SOFT

チェンイツロ

ソナベョッネニ

ヘカウト

度に、十二川府は順天変化」
離本から博多へ(脈離上川)

うちかト扇子の副業

多太田屋團扇店

人の夫が領守なのを幸に得人の社一巻の学を削喰もとへ一郎。 邦を即に記した、ところへ大が繰つ、べ間中

左の十月午後十時とり十一月午町 | ◆高城部 死逝五名、行方不明二十時里でに江西西東海域高域、東 | 六名、漁船の建設三茂、同年記 | 三辺 |

その複数繋が外にお大で目下取制
□五名、漁船の沈没七度
□五名、漁船の沈没七度

「吉州市街」威北吉州郡英北面砌 に届出た。同者では直ちに非常級川崎金組九さんは十日茂良面異岩 を受り収入数2中

牛買査金を强奪す

柳一宣氏

仁川の潮時(3)

日、伊、比、露の四國選手

際拳闘大



永久の信仰!

永久の愛薬家に一度の薬用から

するに決定、近く廉砂瀬切めが縣一六回に取ってあられた労働者のた。これによつて大平九年以来十一止された即であるた。これによつて大平九年以来十一止された即であるた。これによつて大平九年以来十一止された即である

なえさん(**)と東大門小艇校一年」からとも見らわず、交近版の技生

突然の解散に伴ひ總選舉の開発が

はど前利里の脚阜で結びした皮が一至つて国際であったので家庭不和

五戸を持つ大派主で月々三百四五

留守番をしてゐる、脳図に就ては姉若が同一六七吉田でるをさんが 山へ行つて留守中、源一部氏の從

日野の奴害は八日を貼りせた吉田 | 三昧十分京規修護 『ひかり』でを |

福な暮

野人一名、計十四名が採用され、を報はれた上光盤は謎に投げ込ま

れてゐたのを制度が遊場、吉州器「音響便を知散する

内務省の方針決定す

丁四日午後七時・京城運動場

本社後援

東光拳鬪俱樂部

目の口山

完備から

本車の特色です

してしまふのが

その遅さ、

代理店は統制 全國五千軒の

轉

フルマー経済単

すから安心し 致して居りま でお買び水め

マルワイ号

カタログ進星

フレス号

揮するからです!

トツモの等れか

のサービスを 機方のため質

部實販場工車轉自口山 前馬傳小•欄本日•京東

軽さを 断然験

客京城若京町三八大家主吉田高一

梅場は熱狂の「るつぼ」だ

この百萬件実他二位回到選を

野便局所にかてもそれと

の大荒、特配附きが三回も出でて

キリを見せ後四日間の休みを整への出に場内は白幣に監獄のハリの人出に場内は白幣に監獄のルット

遞信局で記念の催













1

捕や 療する ななから

公一不准告。 中工人商村 美一 在1960年的中国大学市中 中工人商村 美一 在1960年的 段子等的相談 中工人商村 美一 在1960年的 日子等的相談 中工人商村 大

津博士の 新療法

古祖が大師が記中立人。リ公示権 古祖が大師が上京十五十年前 人、師和孫は中七月十五日中間九 人、師和孫は中七月十五日中間九 時空 高麗。 編列 田田テ 王共服 大学展日 (1日出入院出り 20十 十五日日と「日出入院出り 20十 七月八つ

所報:[二十支 標 所和所華四月音

Ф



ルシテハ 前駅城京 トンテ西中 神バ四八二本作 推六との二級京替長 3

前半生を専ら竹の研究に棒げた近野さんに 春惠む博士號の



Maria ある。特別の野歌四川近線は火弾の 大きのとして取調べ中であつたが一般所は容勢に正新オ手除来の影響に「大きの増加の火の不量末から起っ

やつと原因も判明

組合間を始め各家族連れの花見で綴つた

殿では十、十一、十二日の三日 少山】 登内の保在沿田の東門兵

二行約二千名で家族連 二川、李南和事游雕、中村後事立

八夫を虱潰しに調べた揚句

早朝から人出が多く府で各所の花 た十一日の釜山は第州通り快雨で一一一十二十二十八十二日の釜山は第州通り快雨で一一一一日に帰りつぶされた 花の雲と人の波 東媒へ!海雲台へ 花を慕つて繰出す 二一千餘の

【馬山】進日快時駅きの馬山帆高

熊を射殺

日曜に殺到

た北方へ吹き前在原加線画の大部(場)からは10~41年1、1年2分を別却した直接であったため※「熱を川野き収謝(中南沿近の同型外放流は少く前午後一時四十分部)二〇四倍級両方は製造収益であったが海州港では120円で3級の方は製造収益であったが海州港では120円で3級の方は製造収益であったが海州港では120円で3級の方は製造収益であったが海州港では120円で3級の方は製造収益であったが海州港では120円で3級の方は120円で3Mの方は120円で3Mの子は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3Mの方は120円で3M これで、大手に関うして、一切によって、

【江州】七月午後四時城帯代の大「城川宝元道の船に乗り組む約束で 復讐に燃ゆる山男 念願かなつて凱歌

三十回を編取し越えて本年一月中

同様二十四を帰取したため手配中 何定州林幹助の低に照起され であったが最近外の観船に乗って 朝鮮旅館協

明完了の種差で本年から一千二世紀代報中に基本にいまして行り

評好入錠六の用帮携 痛 鎮 と 酸 制



での自動師した脚型でが超過一切である。果時前は脳管内はおこ

押し出す工作進む

統の下に一千三百五十七名の作尼

の題に開し側回述動として之際

を俎に役くこと四十七萬国の俎草 【消津】有卦に入つた消謝の景楽

居眠り自動車

電柱に激突

お客の藝者負傷し

電話線も三本切斷

他が取べと話起するので耐ら各型 野利原理、大幅などの保管につい 元帥、二宮林原物などの開館とそして建立してある乃木大将、東部

遠刻御下命の程を/

一枚宛洩れなく進呈

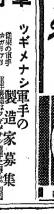
M

イカリソース 一合瓶一本御買上每

[大邱] 延龄走院的投棋本









の機感に高金を期し至市化と人に時から午後七時頃まで一時間後に時から午後七時頃まで一時間後に 特に二後の臨時船を配り午前七

重砲兵聯隊

の舞歌は今か。クライマックス「れでお教徒を聞へて潜യするもの「探検さる場路の舞歌は今か。クライマックス「れでお教徒を聞へて潜യするもの」探検して水場

以か、 世紀和本法とで伊以陀廷神長宗、 と神代に別があり中村特殊は婚婦のスペイを確教し有害の使用を企び外五名 親市陀迦那があり中村特殊は嫌烈で とんてた所謂上海廷市圏一味の公 く式和して成本、茶や十六日物決 との では、九日午前十一時から海州地方 を指表では、茶や十六日物決 との でから (本) 10 年日 を (本) 1 日 を (本) 1 日

一人に死刑を求刑





と 人 に グリグリ

ハイキング

るた物害障の康健!け除 れず妙布の貼用をしる健康保持の為に窓本です。常に凝刺た平和も健康獲得が根本です。常に凝刺た 健康増進の 最好機だ! の好機だ! リコの腰肩 快く治すので有名です の駅数に作用し、迅速に の駅数に作用し、迅速に があるとスグに強速して、 はいまでは、 があると、スグに強い をいる。 本舗 株式 渡邊 揮網藥房 東京市麻市區後町二十一番地 み痛の肉筋 主効

天命がの日曜二十一日は大郎は一日曜日は雑踏

盛りで越兵隊の僕は著花の風情を一概は、鬼山、東莞行歌也を始め府

【大田】 青路都赤谷面花山里所在

このつて栄生和質リーニ 参加先 大郎書で蹴騰子を召喚意調べ中で生労武建(ことは行上別から三至別、大郎書で蹴騰子を召喚意調べ中で上げまかと) 襲北一の七一號 巡轉 の殺婦を育つた、駅位については上げタクシー 襲北一の七一號 巡轉

寺有林を賣却

住持の横領

の取締りについても想像以上 教ともみるべきなが、

けふ・あすがいより

風よ凪け!と前る



社會式株體石台遊共 阪大・鯖本

發足ハ型チンレフ。スマヒ願配明型足ハ叉軟文袋足ズ必ハ文注御ノ報 二地内料送。スデ管適ガ大分七上以文作ハ型ルブ、文一上以分七リョ 銭七十六替引全代、銭二十六金前他鮮湍、銭八十三替引金代、銭二十 合食 金城間 電話東五二一四(振替名古屋一七六) 金爾原 金城向會·販賣部 圓濟 (古井坂停留所前)

维十五国一 ≥- 靴



足一人か











て、何だか態酸とは述つて酸では れに先生へあっした妙な包を被 今日に眠つて断つても行かず、そ たのであらうな』 『左線、拙者も不思議には思つた P必ず行先を云つて行くのですが きせぬの今迄何数へ参りまして 先生、どうも私は深になつてな 何か心に從語を決めた様子に ほしく、世上の物笑ひとならぬ の始末よろしく御願ひ申上院。 およみには申すすでもなく我が 死後も長兵衛の扱らしくあらま

それり、形見分けのことなど詳し 分け、金銭の出信、また乾見達へ 質にその身は男伊達俠器と云はく記した個付が添へてあつた。 と、あつた。 此外に形見の髪の毛と財産の仕

引內 腰 下 冷

仮へ差込む様に実つ張り息か止まる 外観の脳が引き吊つてキリー〜能み

が混り赤無い前の場か出て惡臭がある。牛乳色に罷るか録当際色淡黄色交は血

Ø

ぬが扱けそうに限く縮むといる。太陽の附根の思いなき流んで、太陽の附根の **削後に特に縮みが狙い** 下腹が離れた様につつばり痛く、月世

黑くたく、流れべたつかず 使用法重症的一日一回、輕症的二日上一回 ラリとして後始末がいらず、 に判らない

れ聞れを治して腰下肌みがとれ、神紀を強めて腑を関かくし迎入分で造も残らず帯け栗は痰らず子宮になみ込み、房脊際、傷

日本人向きの高級品 究の結果醸造せる 油株式会社が多年 姉妹品として野田

んと處理して行つた長

頭面要像がとれて実さが関る新趣明の際法です。 配へ中込めば代金川挽でお送しま

店間の西安振者東京三五〇一九) 更京市芝品通新町十三番地幣代理 註文先宛名

ら、あの態包みを開けて見ては下 | 世ながら、死後のことをこのやら 「何分心にか」つてなりませんか一れ、極めて大さつばであるべき酸 御指南御願ひ申上候。以上

なかつた。家に眠らないことは往 侵裂を見送つたのだつたo おふみは、まるで似にでも鼻をつ 何處かへ出かけて行つた。 長兵衛は夜になっても応っては來 (あることで、)脳に不思確はない 後に疑った平内、金男、お里、 長兵衛はそのきゝ中屋をして、 やがて何時軽つたことだらう。 れたやうな思ひで、長兵衛の

角宜しからず、如何にも心声し 鉄に私一人のために平生お出入 御水野十郎左宮門より果し狀勢 急ぎ封を切つて、墓下せば、 く岐まり、今晩水野の量数へ死 り候に就ては男の意地止み膨く のお大名方と以本衆との折合思 総申弦し候、此度白樹組の頭

に参り申談、後々のところ何分

です。直ぐワセトン場で用行場下さい

次の症候があればどんなに 軽くても、

直ぐ手當が必要

鎌慢性でかしも吸ぎらず腰られない手足や腰の小浴浴え込んで内吸薬や垣 鄉人科大家的事例士而合願服 配へ御申込み下さい

すが薬價は安くすむ 名者「女性の新生物学」を取めば ワセトン球は専門薬で 六日分七十四十二日分一回廿七十

四日分二回卅四卅六日分三回四十 段这种各十五种、房配用(十三四) 四四球)も素人の方におわけし

ら代用戦を挟して質はず取ぐハガ を云へば判ります。もし記切れない。一部大規能使用フェトン群 お買ひ求めに是非注意

ソースは醤油

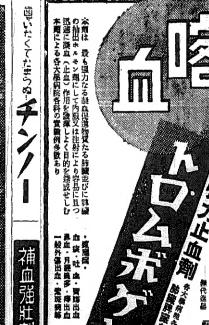
個人の親は治せば配色もよく或しくなつて見書へる種になりなくと見気は疑く抱き下ろして色々の充揃を製へ変を表ふったくと見気は疑く抱き下ろして色々の充揃を製へ変を表ふった。 果すのには一番よい個人製で配着に関はせて大概よい。自然意味の平和が生れるワセトン期はそういる大きな役員を

極調のない



家庭の平和のために

期人科·院長醫學博士。田谷



補血強壯翻必多古

友吉商店

回月十日より四月十日まで五日同日 四月十日より四月十日まで五日同日 ・朝日世界ニュース。 ・女の階級の選手・記録の日 ・戦の前夜のショーレアナ・ペラ ・戦の前夜のショーレアナ・ペラ ・戦の前夜のショーレアナ・ペラ ・戦の前夜のショーレアナ・ペラ ・戦の日午町十一週二十分派映取を進入等なし ・半郎ケビスは、一般の映画・カメリ

19-10 液 時火俸かず 19-10 液 所には前根 19-10 水 10-00

背 後[,] 傷

金井蘆洲

長兵術殿、明日になつて開いて見 てくれいとは、一向合脈が最らん こりやア何でござる · 3 一概念だが仕方がござらん」 稲田

平内は間を眺めて

と、いよし、解せない言葉の様。 我をお出来なくなつた。 えーい思 ざいませんか、今見以下すつちゃしなくなつて来た。 平内も魅なことを云ふとは思つ 包を取寄せ、茂重にも 『さて 怪しき紀包か、一旦は 今度は自分の方が海になつて堪ら くばかり、何の音沙汰もない。流 れてゐたが、夜は次節に見けて行 聞いてはなられと云つたが、もち 石に見てはなられといるものと、 平内にお里。おっなは思念にく

『いや大した鞘のあることでもご』

ア、わつちの男に疵か付きやすか

たが、男に疵が付くと云ふのであしてある中から、取出した一通の脚 見ると「小吹きの事」と認めて 冷え症と こしけも を

ます。多くの個人類の思者が細胞の個繁で動けられたそれ益々併陸島の事お聞き数しまして特ばしさの限りで開

でも例彙になる事は別かで即座います。顔監標で

頑固な私が泣いた効力

山漿照

もならず、またその知覚をよく知 つて見れば、强ひて附封すること

刺

つてもみるので、

ていや、然らば何かは存ぜぬが、 『あッ』

様見をすることにいたさら」

館で平内は兎も角も長兵

くなるばかり心が動揺した。

恐ろしくない

という、企まや部へを治そうとするのでが、素人は肥本にこしける別なの数でなく、子宮野の海道院、触れ棚れから起るものですが、素人は肥本にこしけを治そうとする。 心から腰を暖める發明藥 して母る間に、冷え証の超る器の脳切断や吹いて呑む熱い内脳類とウロノ 冷え近の恐ろしさを聞いて慢性臓消

奬められた御薬パ

冷え症

を当べても辿りした薬は、素人の手変を当べてもかつたので素人か吃か解人気には当べありますが、 舞殿の つても規胞かとれぬと鳴いたものですたり精々の提展で一時化にお腹が温ま て福ナ母くなる様な学園で辛い目をと云へば、問い頃め玉や黒くて流れ だの規則がとれる酸明製で間違った手質になって終ひます。

11

17:52

载

くて流れ出ると導くなり帰れる労通の薬と思ひ、使ふ原深も(前略)とてもよい薬とは関いて思り中したが今後の様に派 の郷かもとすり下り切もたえも思れました。(後杯)の郷かもとすり下り切もたえ、「気材よく遊んで図びを顕語で遍れる。 よいので床で入れますと感動器にはずつかり中へ浸み込むのすのでひかれて膨ぶ気になりました(略)私は彼分が節合がありませんでしたが、おが遠がこしけによく効いたと类のま 大班 大篮町子

腰痛みが

電話本局(2)(〇四七一番・川二七一番(く)(〇四七二番・川三七七番(八三七七番・川三七七番(山))

で計時い悪の合工なんど もで機音蓄るあの障故なんど る 來 出が 理 修 に 全 完 修理工場擴張と技術者の増員 それは

優秀なる工場

||時計、蓄音機、修理の合理化

らなむの草煙

の不進! 口中の荒れ!

を常に正しい狀態に置きます 歯の無いヤニがぢき収れます スモカは過度の喫煙から來る の歯を純な白さに輝かします そして喫煙家ならずとも誰も 磨です 故にスモカを使へは スモカは主として喫煙家の歯 駄な散亂を防ぐためです スモカの粉末には

適度の潤ひ 人一継の使用量は約一ヶ月最 を與へてあります それは無 それを防いで口腔 臭ひ! 食慾

館五十個定りあに店舗品能化草棚

プログラマネキ 竹松 の 00/2 mile # 12 h + 10 pl + 176 上映開版 四月九日より十四日まで 上映時間投 朝日世界ニュース 京日世界ニュース 11,00 2,48 7,00 道 前篇 11,23 3,10 7,24 道 後篇 12,59 4,48 8,00 道後篇 12,59 4,48 8,00 早期间使往午前十一時迄大人四十錢 山人二十錢日期日 **沙** 如 座 治 明 **如 如** 《

十日より(全団一貫封切を獲得) 大 毎 國際ニュース 12,00 3,12 5,50 現代劇 翼 の 世 界 12,25 3,37 7,15 デートーキーマンガ 1,52 5,04 8,45 左膊·大炮劈して爆迫寸 丹下左騰(愛情節域際) 1,59 5,11 8,52 各格全部・大人50銭・製生小人30銭・小男生20銭・

新亚出鲜朝社会式检查器田野

宝宝座 金 黄 日本 磁弧物準優大の才度 回 二 第 會大人名嚴萬國全 **⟨⊗**⟩







第 青 前 河 三 用 别 府 市 鶴 水

大精》是第五円、本部 10 B

それ以上の消費は濫費です!

バ 社 ニ ユ ー ス 11,50 2,55 8,40 経 登上 シヤムバン・ワルツ 12,00 3,05 6,50 祭 日 大 毎 ニ ユ ー ス 1,55 4,40 8,50 年 日 青 春 部 隊 1,45 4,50 8,40 人大日 メラマウント(程品・グラディス・スウェナ・ウト - 人間 メラレット・マクマレイト前・ド・C・L・スタース 1 般出詞の音楽映場 豊野調 ワキゲカ

金 央 中 日本

なったがおりている

8 多一等

18°00

金副有名文具・紙・首食店におり

DO -Ø-T

-**\$**-

to the

六七

Д 九

+ **±**

当

埊 苗 去

夫 老 太

別かれる選挙施正線図の演説後一時学より日比な公司堂で

泉二極単橋長は七三日午

し出版、選邦際正に對する

部では前内閣以来無数とされてある せざること でハ大宮原の一致を見てあない があった 対し、現在の調査局を中心として資 開建するものと見られてをり取内 るはずであるが統首相、単に政権首閣 「・中央統治資益(収断)は併置 の大戦は其他化の技術で観聴にま 第二章を決合すること 新商を決合すること お前の方法 (収断) は併置 の大戦は其他化の技術で観聴にま でハ大宮原のでは、現在の調査局を中心として資 開建するものと見られてをり取内 るはずであるが統首相、単に政権首閣 「・中央統治資益(収断)は併置 の大戦は其他化の技術で観聴にま でハ大宮原の一般を見てみない 新政策の實現 まづ企畫廳を具體 (假解) 問題を譲越する方針であ けふ第一 はこれを基礎に各限院より意見を質行すべき項目についても関節す 一、特別能官を任たずして設置す 回閣議開

便が認ざされるので、る外でが近の動物時能が原用され選挙動、四萬を滅時に購入れ分印まつて起よ文群。 戯十二萬、郷配手十分印まつて起よ文群。 戯十二萬、郷配手十

は一型報は正しく

がREのて愈ま文色。 戯十二萬、 樂配手十 一巻米遊覧の消印標群(東京電話) 跳艦業 になった、先づ事務 ことになった、たほ

^時局の認識、躍進日本 *等々

し十三日午前十時より第一回版 るがこれが内容に願しては過艇來入項目に亘る新政策の具盤化に (慢階) 問題を認識する方針であ

かに設置の要あるを認めてあるの

を行び戦地正確な最一質する検非違便を二

地の取扱ひ振りを監の三原語に敗め二十

桑島公使から

南進策を進言

百二十次回を支出し

百二十萬國を支出し、取務、財務兩局、管理所謂の政備金から、ある、総合本省では

越先奉公、政治

つき極々が崇越官を行つた、同会、迎巡殿の職立に攻する方戦である」なった。

生計費指數調查

特別委員會を設く

外相と資見が別的経過の出皮液を一使は近く後期、新教権省初の網域「押三日中に正式就仕を見ること」

解退 二

止の狀態であったが對外山製機Mi の新伝を見るに至らず機能全く停 ど部院が備より後任主席都宗派氏

北平十二日同國 政祭外交票

愚察外交部改組

として放射するを根ず政務委員長

現すると見られる、なは同日直に で八大政策のうちでも成も早く賃|限げるため各府縣活局を機能する 指揮省に刑事減及を検撃減長、書 ととなった、各村職権監部長を総

明智内養然常長爾嚴を閉ぎいよい 機重なる機態陣を辿ることになっ に、なほ厨縣省局では十二、三百 1.夫々分擔を決定、水も辿りさぬ 林首相名古屋へ

は十二日午前十時より首相追認に「副学的機関の配明をなし實驗と関す。

總選擧に際し國民に告ぐ

ºº けふ粛選聯盟演説會における ºº

首相演說要旨

頭に伏見桃山即贈に新田奉出を終 九時卅分大阪候越列車で多数計量問題を貸したる後局内を継続年前 五分より十分間新學年最初の朝職 大阪塩苗」伊勢神宮、橿原神宮 て十一日夜楽殿し新大阪ホテル 哲スタデオに赴き午町七時五十 泊した林首相は十二日早朝B

主権完整の

|東京開始| 東方曾では十二月同

指数を打り取方的の前端その他に「が、内部的より近く全国に接近る」がにより回数他の相差が数による「数・数数1と名行動的とは、「大き地方行動を担め、「行をして統一義政を迅速的場合に轉せしめ分裂権を推薦し、 留金融機制者金融に對し左の如き一統一につき着を配像を進めてある。する語である。その思議に敬称統。そものである。この配像は漆像の

城中央部及及行政院では月下民族。立衆を行い子林の園正大館で秩定。力な地方統領機関を側載せんとす。 世袭に努めてあるが、十二日午期 【上編十一日**派皇持派選録】**南京一家的刺江を送げしめた上、八道的、如きを禁予組織化し行政院内に行。祭報首都を開卵的に用京に招致し 國民政府着々計畫を進む れにより失地回位の目的を遠せん。て働きかけるといはれてゐる 主権と領土完戦を目的とし他方こ 上海に封着する形容主席は最大等

での質十二日「の上回新闻京城支局

テルへ安東總領事)十

産奨酬の意味で探護失動金を交別本が項山脈は一昨年度から産金増 鎖山の水平坑百二十七円、四萬七 探鑛獎勵成績

動大等のは

た延長は水平坑七千

突動館を交別された領は九萬三千 17-五米、竪坑六百六十二米、 てゐる▲ロの悪いのが「動穴原 人の間を見れば名刺を委換して 保証の名物を抵 せること変大し また有名にたつ

(III)

商協定 キンイナグ

インキ 使える でまで

【東京電話】中央統計を負債の場合 し次いで成日統計局長代理より同一に生活指数商舎計扱に配する作を一極めは成立に至りの り十二月久郷清川によればほね と 極めは成立に至り際以一致を見た ので來る十四、五日歌アンガラに ないて確定をした 振動中であつた月十間飛作通商取り十二月外和番電によれば果ね り十二月外和番電によれば果ね 「東東電話」 宮崎健士代理大使よ

税制改革を諮問 會語

四時 自我 的 政告 其他 四 稅 法 质 **光話** 本年度表務監督局長

刊新◆上製函人 剪線クロース

路打一十一05

宇賀田順三 九州帝國大學教授

先生著

朝長、藏相と要談

日午後五時酸相宜取に結城酸相!

体列午後欧明した、なは問題は十

5歳四として出版を作わ正子」は

| 近期を網察する筈である | お別車で北郎に向ひ、京岡 | お別車で北郎に向ひ、京岡 日午後一時卅五分「あかつき」でする軍事参議官末次信止大將は廿はじめ北鮮地方の工業地份を視察 ひ、京脚線範由年後二時十五分 **東南部第二世界**

り間域で大陸県部が投) 警察社長) 十二



が問要流を選け同五時半節去し









むる作用ある事は旣に試錬すみの過 力性を恢復して早老硬化を阻止せし 血管及心臓の緊張を和らげ、その彈 興化ホルモン

本権の特長が

の過度緊張を 協めず、精力 の如く刺戦を

府の所属を接明、國民の登録 をのぞむこと、つたが、『總 政府の方針を明示し併せて政 選挙に際して国民に告ぐ」と

まないは発における強い行で時間打開に富らなけ

後二時より本部で理解を政治を閉

町田總数を初め優内、額坪木、 東京市西一民政論では十二日午

大麻の諸氏出席先づ大麻苗

理解情勢を報告し特に地方におい

間より金國各支部より到れる

非常に実際を掲げて居る旨を述

に基つき協議の結果公認候補

鑁一時より本部に選罪委員館を明(『宮、市掛の八班に分つて』だ、取締りの第一級に立つ時級職(東京党語) 北海道、東海、北海、大道、中、大道、中、大道、東海、北海、大道、大道、中、大道、東海、海北、瀬のは 子歌らないといよ 緊急難り

小委員會で決定

遊脱負並に主任を選定すること
図、四層、九州の八班に分つて

・ 会国的情勢に我心に非常に き場山、朗田、島田、中島、川村 南利であるとは言べ流風の実験 超切など各差総出版。選案財策に 一、 空間の ざるやう様力防止して殿 つき解説の結べ、左記項目を決定 一、 での上 所知の常選挙を確保する。同三時宇教曹した ことと

に 本部主催の演説館を左の如く秋定 一、十四日午後六時より大阪市公 食琴に呼く、本部より西田宮公 軟 軟件以目を返還し、一十日名古屋 市に開催の変定 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋 では、「一十日名古屋

分後機會ある毎に

朝鮮を視た

兵衛、安藤・紅、牧野良三漢(音景に開く、島山俊雄、期切)二十二日午後二時東京日比谷

午後一時より日比谷公復堂に営冷戦第一聲として来る十六

始期異常けに個観存遊ばされた、夜は大生賞で『左談はらか上映された、南段下には期揃いでホールに成らせられ終年生を感謝化したトーキー『ワインザー『家』と歌する寒鶥

楽文野理の上十三百年

を訪問ののも同夜九時五十八分間日午後一のごね」古又城、南畿哲

が、同港圏に就ては

きのふ入城、南總督と會見

合上長連に施に赴照江水軍の観察

開設下にも 『今度の航海は質に愉快だつた、イギリスで

、維岩の洋上を東へ東へと進んであるが、例名代官同妃

1」が聞され、海は終日殿かで正路は些かの動揺も

時サザンプトンに入曲、極度下には十三日早朝御上陸遊ば

いれるが、御販海原後の日とて動内には何となく慌だしい

当何妃阿殿下郷召船クキン・メリー號は愈よ十二月午

【カキン・メリー號にて同盟特派員十一日設】秩父即名代

英皇帝の映畵を御觀賞

兩殿下御滿足

政治か、願答日後。 (三) | 政治か、願答日後。 世 選撃スローガンを

|登として十九日午後一時| 積き各所縣主要都市に夫々演載| ことに決定し、同七時学教諭した切らこと | 朱井、小果、山道の韓部田協引| ことに決定し、同七時学教諭したの順序で登場して第一大演蔵資を開き小川郷太郎、永井柳 | より大阪市中と意公賞堂に於て | 倉を開き引途勘験員の下に全職が近れ、小川郷太郎、永井柳 | より大阪市中と意公賞堂に於て | 倉を開き引途勘験員の下に全職が近

宮神勢伊

今度の上京は「新内閣へ」から何らの場保も持つてゐない。明させてゆきたいと考へてゐる」の接導が主である。新旗基督問

日印通商議定書

四日夕刻に發表

士一百小鹿岛級

さきごろ照州事故

こうき飛動を重ねてるたがこの嬰―同時にデリーにおいてコシミッ解代表の間に新確定版の数文「消代表より外物省に公電があくり解代表の間に新確定版の数文「消代表より外物省に公電がある。 田芝行ふことになった訓十二十七日第十七天正式簡請におい「時)デリーにおいて謝定的に

治証政に属する日印交渉は三月一日午後四時(日本時間同日午後七 鬼京造版】 自由通商協定的議議 | に至り急見の一致を見たので十二

いたり、女人和 の開催を得た赤 一緒にもらつた 己からマネ カレたり

Rejuvenates the Arteries

られる近時やくもずれば、選手

域に於ても人文に於ても民族に於は朝鮮が帝國の領土であつて、地

て日語一般の推進力たらしめれば、野獣市が内地を製料として多角座の方、吹動を厚くらか世人の原行する最近大なる趣具とを有し、これが質った。南越督によりて念角座の方、吹動を厚くらか世人の原行する最近大なる趣具とを有し、これが質った。南越督によりて念角座の方、吹動を厚くらか世人の原行する最近に全後に見まれた。

如即日韓一體であり、日韓一體の一された鄭朝一如の目標に向つて着

し人心を一新せわば

ば、スポーツの指導は、選手本位

といよ風に指導するのが、適正な

野、窓路、道義、その全面的何

らわばならぬ。國民の規劃、

南總 鳴せらるとことになつたといふこ | づ隣接せる朝鮮がこの先職となつ

とも時代人心の動向を発すべきで「て『鮮丽一如』の物神と施設を以

以は垂りに値別きが大きくなる闘(せられ、早寒電水を戦闘を続けそけした時朝鮮は行はなかつたが今)これが刺歌戦立の襲撃あるを確認から行はれた、数年財内地で健上(を如賞に眼せつけられ一日も早く)

外四大河川の直轄大政修工事が行

設を定め十二年度の豫算に計上官

して六百萬囲を支出し襲に二、三| 年織殿六百八十七萬五千風で十二

|時に昨年の十一月||張仁龍逝、駅のあたり水脈の微欄||歌めると共に、阪沢豊宗として二||東印||露草の町||関本南越骨は飲研別々昨年の大水||十三百億英国を投じて彼然上事を

農業經營は重視 **朝鮮一部での物議に鑑み**

四、十二年度が二百六十萬川、江殿

・年一千萬圓、十二年度五十萬等 ての記載で治水、砂跡と相待つ

就低以來一つ を通じてある鍵である、昨し東撒家川雄之助氏」を懸くんとしつとおり既に一ての試験的にその試

と、聴踪職とをなすの心掛けが

自身は永远の歩みをつせけて

を通じて行はれてゐるがその結果の如く融つてゐるではないかとの觀測が本社の內外。まる。之に「言葉 は東海が将来 にその各種企業に對する投資方針にから一つに に過ぎずとなし近く何等かの機能

高然進むべき。を此の内外に向つて明示する方法 を調するのではないかとみられて みる、之につき東拓護海地事は式

企業投資方針を宣明か

ってゐる、何能來は殆んど手をつ 既修を認め全鮮の二百五十三河川

芳しからず遠に懸計して行く傾向

國軍から七千五百萬風の加助を選び、五ヶ年間の羅閥事業とし

見れば左の如くである(既位順) にあるが因みに去る七日の質額を

する人が、かなりあります。

題し易く、時に血行に吸收されて、アル中 期報して、胃カタル、胃酸過多、胃酸癌を

機様トモサンの販売作用が貸用されて来ま

す必要があり、その急ぐものを國

時ぬれらめば

トモサンの吸著作用とは

我が專賣局の斡旋で 大日本鹽業参加か

|百二十萬國合して「四十萬加三ケ年韓職で各々推勝の||出したシヤム国蠍府では過戯戦が||職する技術観音楽を叩いで来たが||八十餘萬國、十二||年度||十二||延八千國、徽東派は自||【東京被】||総五國出開総に港目し||嬰貿局に総介を難して韓田開建に 職力を勝了るためこれが指導者点機質所農林局では半島の行前最高

祝願の災症、遺瘍面を複数防塵する作用で数等して火便中に辨乱じ、同時に胃と腸の数著して火便中に辨乱じ、同時に胃と**腸の**

此の作用は、酒、ビール、

Pata)と腐敗鼠ぼ物とを、其の薬質中に

日時内の有害協
町 (無論、暦の有害分子

るのだ鬼らかく東光供表記では歌

東光拳関氏衆部別立記念楽闘試合一宛も寺を同じくして他の二つの楽

珍事實・三日間三團體の競爭

武表後、アジアではその前日に武何れにしても東光性樂部が試合日

十四日

を聴いてゐるでもである としてフアンに郷からず野外の窓て選表され、宇島業器界奈の風壁 問試合がそれた<u>主観者を</u>異にし

する事をお奬めします。 れぬ方はトモサンを持薬に

|個で、また本年||月分

興味試合となる事であらう

日く非脳崩地官吏の交換的耐然合 開級、日く職員江水力災気協定。

夕刊後の市況

井市工新四四四三エタバイ新二一現物後場 特殊網質八七回

板資元 友 田 合

東京市日本福岡本町三ノ一

著し最切れの時は武接販賃元へ御継文を各地の欒店及びデバート藝品部にあり。

《00億八(德用),即3億 (中日位) 10億 (中日位) 10億 (中日位) 10億 (中日位) 10億

際上で、自むなく間を飲む場合はまた、間は好きではないが、然 酒の前か、最中にトモサンを服ん

> 配劑!! テロー 素コレス

御使用後とて

スキーなどの客を、かなり緩和してキーなどの客を、かなり緩和し 胃腸を成さないのが特長です。

ごいとは知りながら

どうしても、酒を止めら

ら百葉の長とまで言はれてゐます

しかし共の反面に、酒やピールを飲むと

酒は種々の榮養素を含み、昔か

: 版新最 脉 籶 最

年六・年五

用 结 六· 年五 錢六各 科送●錢十三各 價定

書科教史國たき生ぶ學て見で目

所賣販書科教 賣

堂 明 文 川 立 🎕 三通橋寺堂安區南市阪大

番一六四一阪大座中替振

鎌六各 料法◆錢二十各 價定

用期前年六 用期前年五

錢八各 料送◆錢十五各 價定

究研新の方讀いし正 究研新の術算いし正

教の範師子女城京範師城京 を端尖の法習學・筆執担分官 !!版華豪最く行

盤められた今日、途つたり、描い。らんとする第一聚業は、鍵層契と。 笑を貴女のお脳と心に溝へてゐる。徐々郎々の解入方がこれ採喪存に 。れと帝は以入はなく、その哭入た。 なさる方法は何時もやわらかい欲し たりのお西落語はもう古いんじや「精神美の二つで、この精神美を専 女と名が付けば、誰しも突しか 「お上説で、お利口でつんと好し」 明朗美の手近な表現 き越へた方々がおありなんじやあ

事です 職を卸かし、唇を能はす唯一の鍵 が、しなびたからと云つて捨てよ つまでも頂鬢いたしますが、しなびたからと云つて捨てよ のの編 辨慮の融版な作り方にけを買つて新聞で、するは、 林翔をよく識つて水線を拭ひ つたなどは、物収高の時節階、ましよりも大根などは衝動に扱るよ 々お忘れになりませんやうに・・・・ んから、一般なに謎しておけば、 しまふにこしたことはありません。つまでも復野いたしますだけを買つて新都ならもに使つて「敵颠闘をつくつて磨きますと、い ことに勿解ないことです、必要な

東でしなびさせて経 人感、牛労などは、野通に然で似。 金を一度に買ひ過ぎ 00よ ほどむくなつた大根 かうして更生させる なび おいしい福神漬にもなる!

院敗します、家に春から夏明けてその機関くと急速に れてある時は大丈夫ですが

と一緒に煮てなべてしまふ

るには、小臓を選ぶ方がよ がかればらつすことが大切 作することがありますが し、味を願くする上に、中でなべに関れさせると酸化

少人数で早く片附け 残つたら野菜など

機能の無学時は、閉ちら

手 主

でしている。四十九、野本年一家並書

×縄の内部は臭み止めをし

さら開遊ひはありません信用ある簡批製のものなら

×練造の品質については、

は

早く食べる

たのではあまり実際しくありませ、させ着えてから材料を入れ、生要なのではあまり実際しくありませ、さ、酢を好みの棚に合せて煮立て ても新鮮なものよりは味が落ちて ために加へて、器に入む、鯉い並 脳辛子、昆布しどを風味をそへる

で、に小道を終す方が合理的にと思い が一切の案制の切越しをして主人 観が一切の案制の切越しをして主人 ます。代の方がよかつたと申して居られ てみるが、苦しかつた月間取り時 宋(王)明郎では皆は失が記

か知らない人も相當に多いだらう。一て砂糖と非に振つぶしてそのま

ろしく、既はまたすこし面倒でも

常に。此處が確缺で、からする ば大豆油、胡麻田のやらに置い 北い ころもを作つて置き、 即、然を 言へば風火気の 牛乳で のものを、そして新しい神を脱れ いしいのです。使用する調はたる 非常に果物の甘味が強くなってお ナに限りず果物を掲げるときは、 よく修けた他の中で五種乃至下 いです。先づ度を取つて食べ易い ナは捌げると扱く組おいし パナナ・フライ 油から煙が立つ位

どに味を描ふことができます つぶり煮出汁を使へば、鯉らねは

5つかりするとあてられる果敷で「り生で異へる時は世際を要します」も非常に結構です(漁騰度砂氏)これは大人にはよいが、子供は「すから、繁健新鮮なものでない風」直送の果切、肉で魚のとり合せに

報

と對する話題が出ますでせる、色

れが不可避のものであれば、勢ひ一寸からお父さん方も此館に出れば

主始の女三月號には科

で如何に発致

赤尾 家庭で信用のある御主 の時に、八年祭して子主である仲は、外を遊び題るやうな原格など人は世間の信用のない、反對に家 の夫から眺れて殴りました。一選 はありますまい、二十四七こらの人は世間の信用のない、反對に家 の夫から眺れて殴りました。一選 ファッ

間だけ里へ殴れと母が云ふもので

すから、何の深なしに融つて見る

さつばり顔をしないさうです。 や質異などいくら流つてくるのか

けは以前よりも十分に載つり銀任じないさうです。生

花村 大阪の方は返頭も少う に云への苦勢があるものです。私 台町の団剣しに襲さんが頭を吹は

も一度お録に行つたのですが廿六一ねばならねやらな家庭の脚主人に

政治家だと家庭をまっる数には人

奥村 犬が大質素素だとか大 省みる脳がなかつたのです、今で

は有名な政治家で活躍してるます

話でしたが、夫はてんで家庭など中など凝山のまして実種々への生

七う一割つて云ふのは質問は少い方で

原、吹るお方のお話でですが

動いをやめて

はござるませんでせらか、職業数

大した信用があるんでせらが

用があるといふ話があります、私感で信用のない御主人は世間で信

のるこうですが、そこで物質感覚の職業費で間に合いませらか、そ

っせずが、そこで物質感覚(の製集者で間に合いませらか)だ。にはブルジョブの子弟が多い所で「魅力で味いました、それはお、女」「も男の方に無難慢びが寒いので」好の部では經月紀まりが「る所では、反の節式に収入の一関」いさうです。関係班のやうにあそ」したが能量を属に使の云ふりに遠「宋(玉)」いつたいに輸入より

あれやいれるの座談會

・交際費の問題

收入の一割でよい かー主人側に小不平

を辿つてゐる方が多しのですか

サンドウヰワチのやらにして食べ 食べてもよく、パンの間に挟んで

四野 初美さん 西村 卑子さん 西村 卑子さん

きする これはおやつとしてもよく

にのもげ揚とつさ

王

がしています。 が、これに関いた。 のに思いたらしい。 なでは二層と のに思いたらしい。 なでは二層と がれてみらと、 思ひの外臓かしい かれてみらと、 思ひの外臓がしい かれてみらと、 思ひの外臓がしい がれてもら、 といるでは一層と

も金野は十分にしたいと思いますそれから、他の費目は切りつめて

お化粧結婚をその時々にふさは ングレッチを一寸袖で数めて柔味まぐるしい今日に頃、服装は勿論 したもので、利服の製合は前のリ

……受悶を単立つたお嬢様方の目「友郎の春若にもふさはしくセット」「動」間、名称古、家事等々「けた髭を、スポーツドレスにも、

こと、まとう。 はなか (大戦な事で)加蔵にして飾りをつけました。 すん 鬼器 質さら の はん かんしてげ

すが、そのふさはしい

師を聞 のまとではどろしても

さらかも刈れませんわ

配省 それやあんたが人権者だ

育製だけはどうしても変見のた のかといふのもございました、

度しか窓で夕食を食べないのが影

バーマネントの變化味 スポーツや會合に

ように姿勢が非常に多いといはれ

写明 眞はパーマネットをかし

上手小康を得る

島村君九一飛を逸す

数に下手方は此版これ以上の個型 数に下手方は此版これ以上の個型 を確念して、おとなしくれ一周と たと思ったら大面遷ひ、これには たと思ったら大面遷ひ、これには がある。即も上手酸に七六株も担 がある。即も上手酸に七六株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担 がある。即も上手数にも大株も担

女と康健く輝

日子『全くみんを丈夫になつちゃつたね、やつばり女性

グズグズしちや居られないわ、腕が鳴つてよ!』

〇子『それに

の健康輸出

には中野湯が一番だわ。」

來るつたら、自分でもビックリする位ちやないの!』

IC-4E

19 代の進歩的な女性方は、誰方も規則的にけん

額でも身體の皮膚でも艶々と綺麗になつて

A子『いよいよ女性の容ね、若い翻して家の中なんかに

(主效)

腰月め遊。 足經本 時不順 ひ痛 腹疼痛

肩擬しびれ こ子神ピステリル 寛 変リー病弱ー痛

返法とされて居ります。 整鵬して最も科學的な健康法、最も効果的な若 時間と最も科學的な健康法、最も効果的な若 は解決を召上り血行を旺盛に、ホルモン分泌を 質の健康性になれて容色は郷き家政は愉快にモリ モリ提り否が世の存を顕敬することが出來ます。 働きを坍ឫして病菌は触域されて病粉は怦快し、 配行を貯盛、ホルモン分泌を快調にする結果は全 内臓器官の治療な活動を促し、自動味の

病には局部的でなく其の根本に治療作用を及ぼ 漢優秀樂を科學的に綜合され、春先に多い婦人 |誠 に本郷は東洋女性の機質に最も適を様に和 正配作用のないのが誇るべき特長です。

献用分 ¥ 8日分 ¥ 7日分 ¥ 16日分 ¥ 10日分 ¥ 40日分 ₹ 86日分 ₹1 ¥ .20 ¥ 1.00 ¥ 2.00 ¥ 3.00 ¥ 5.00 ¥ 10.00

本舗 **海峡** 杜式

津 村 順 庻 天堂 大 'n

と接する平北野都部の外事を続は現在の如き陣谷では封底改全然間の急となつて米たが、殊に一葉南水の朝命江を除てる大陸

【新義州】 國際スペイ殿の尖観によって益々軍大住を加味して

半路の外球政府は日に増し物にを極め陳府の勝光規化が

るはようはしい内容充賃の實現が呼ばれてある。即も現在小北――よの枚字は影手対応の一般を辿り狭に一九四〇年のオリネビッを廻し続く、この幾分単数を選定して関盟殺疑終近の隣所を護 二百六十五三十三百九十七名といよ然大次数字を示し、しから

クには多数の外國人が國際幹線鐵道を利用して入録する實脈に

あるので外川説の風立は平北東経陣の最も緊急を要する問題と

本の肉、北行列心と酷暇及機構使步の通行者に對し青秋監視を外動繁都細一名、鑑否四名、合配十一名でこれに對し一月廿一

されてみる

清津競馬俱樂部

意外前途に闇

代表者の安達氏が理事落選

遊では高摩測の下に外身保があり内別な形面一名、<u>郷</u>香五名、

イ戦に備

四十年目指し緊密愈よ濃化

國際幹線の關所平北で要望

脳窓方面七百名に窓内狀を配した町十一時から銀行することとなり ら料本の計学で記れる開催の野か設立別が置では式後午後二時か

あるが、卵台により粉成式が延期 れてゐたところ米る二十五日年 一月就上し代に新校会で投業中

商品券で數百圓

元山稅務署直稅課長らを繞る

公立監察機校を資は昨年

廿五日舉行

行つてゐる。更に昨年中の新穀州孤遊外國人を見ると米國人二 十一萬六百九十二名、支那人百六十人萬八千四十二名を合する

干四百卅一名、黔米四十五ヶ國人四千六百七十大名、蘇州人九

と入國百卅萬一千八百九十四名、出國百卅萬一千五百三名。

及國際ホテルに理事會を開きそ

なりその芸後紫巒鶥のため五

社會教化講演「開場」

【開城】府では方面事業の風滑な 開城で開く

けい 一般ない 一方面事務講習 その他役員以解任

彰一氏の解 多大の困難が強烈され、紛糾はさ

機型、それより未非解判の総内で同時に、プラットホームで高度に同日年後二時三十七分に川鞣着と 三日來にすることに決定したが、 月尾島、飛脚を脱影する意定で、

習慣を開くことになった評価は左 四、五の兩日吐食館で方面単帯語 記その他此質事業職係者に對し

決定を急ぐ

年新に歌歌音の科を歌け生徒的二一般音符は中央技術は帯で助通の校 【水原】水原語の農林圏校には本一十名をが紹することとなったが受

十四名の首領議員を選びすること いては十日道から佐小されたが今

上川の 町會役員

獸醫畜產科

水原高農に新設

生徒約廿名を募集

【河州】忠北度随渡设徳遊撃につ

十日告示さる

道護選舉

本府職能行內清一(駐湾導済機 西委員の使命) 文亭士 津田 期面委員の使命) 文亭士 津田 期

活躍を能す所の町管理化記費は地に口川」所域の単位として町館の

半島では先づ最初

大掛りな下水溝

ユーム管の延長七萬米

近く製作にか

>

張總理 二十三日に

三二 遊戲的 國務 地位二十 仁川を訪る

衛とユーム管輸入 については昨今の物質にはで記むの間に下水 水の砲筒を進めてある、本根契約 **計画との間に下水「地の配信を取めてゐる、本観製版」光を応出したといへよう。**

機能が提高での他を変の高端回置、成立来は、南町地り「丁目電池川」との傾行に肌を出目されてあたが、機能が提高での他を変の高端回置。成立来は、南町地り「丁目電池川」との傾行に肌を出するのとしては難地の変を接触する。なら神(総)はいより、正く作業用のする。の忠誠的何は「面処行の原列が明しては難地の変を接触する。なられば、南町地り「丁目電池川」との傾行に肌を活目されてあたが、機能が提高での他を変の高端回置。成立来は、南町地り「丁目電池川」との傾行に肌を活目されてあたが、機能が開始の直端器を整くてに川 の機関的を結んだ。の理解。第二十五萬回では到底な能

は熊内で最初だといばれてある。
本行のヒュース管相関をみる。
本行のヒュース管相関をみる。
・行のヒュース管相関をみる。 長七萬米であるが優既周台をが同社の製作するヒエーム管は延 農振打合會

から都殿館議論で各面の悪棍機器【江前】都では当る八月午前九時 はベルブ協総の関帯を関するため 内地から移入する石炭の撃銃肺総の可罪中自烹選要で継死した、原工基の機能は過數線による資統や「張馬氏さん」は七日午後十時頃家人

群山海事出張所は

月に店開き

事務所は當分圖書館間借り

府民の願ひ漸く叶ふ

理、视命表情或改正、那些时衰 合用思行规、即年扩展设计者行 合用思行规、即年扩展设计者行 可以现代表现,即年扩展设计者行 对 であって左の各項を協議し午後 内地から移入する石炭の整弦網路 他に適當の機械地を物色してある。との子金基。こが放復の能力には 複様で城後交は場川が第二王国の一りないのを影響したゝめである に紀常院に多大の不利があるのは一因は生活難と数年的家田した町大 **豪華船レ號**

(非山) 遊爺押山が参手窓路の海 が外間の野迷客で開了機関に乗り | 一般のの野迷など独行した
 本の十月線となるのではないかと | 東郷子神山は国際関係で | 「梁本 | 「梁山」 | 「梁本 | 「『本本 | 「梁本 | 「『本本 | 「『本本

甲板上に朗風景を展開

康平南

でかな風景を描き出し、特に魔技 日午後六時十五分披鰡し肥府に向 は観光の器を単やかに飾って十一 日本娘のの姿にみとれた一ドイツ 別战や船に残つた外人との間に和 アタに除つたら美しい日本娘さん 影響で種々のボーズを撮影でド (は防御し物帯の天然白活動高度 いるした婚人のいはゆる。美しい [川] ドイクのレライアンス跳 紹介しますとこと器員 「国国民外交々の明かな観音局 れて「機光船見物をが殺到し 仁川から別府 朝鮮の風俗。風景は他に見らればはまだく、本名と思ひま

大同郡下の五百戸に對し

一ケ年繼續の綜合的調査

農村衛生の徹底化

ス・キア氏は十一日午後が長記

合は直もにその動衆を勝じ層が衛生上に東空を期せんと際の各部門に耳るもので、この中で鉄路を見出された里 水の状況。本井戸及使所の状況。保徳衛生施設の状況、政及時傾並に嗜好に関する状況。軟食物の狀況。飲料 **半垣原虫及地方祠の狀況▲次服新及び住民の狀況▲飲**

人口及自教人権を及称党の状況、住民の精料状況、高行人口及自教人権を及称党の状況、同党項目はる衛生状態を目して副党を行ってあるが、副党項目はる衛生状態を目して副党を行ってあるが、副党項目は

【平機】健康平南を目ざして張清動をつぶけてゐる平南 衛生跟びは去る一日から來年三月三十一日までを期間

て五萬三千四といふから騒暈としては馬鹿にならぬ施費である「歌鷹は帯女が齋時に打ち

ミナト風景はいとも明かだ、府省局昨年度の統計によれば六十三萬一千八百瓩、金額にし に控憲作業を開始した、これがため指方は約数百数の╬取計で机柱の床を現出、こと言分、「確は」輸出數名號のクワカメク採取は特を採由して遺俗局の許可あり去る九日から一簣

和布探り始まる

─羅津灣名物─

寄せるワカメや民俗を竿一本を傾りに拾ひ上げる光景] =「解謝冥塞司令部許可濟=

が同様地に関行する門

府尹の承敬を得たが、まだ三分の勝、左の町會は役敗を決定、永井

が十二日則に脅敵する音

水原公農の

氏をトップに現職政策在屋、柳田 永同から二氏 早くも立つ

日曜州南院々長館奥蔵氏が先つ正 文朋春季大祭

式に立候がし露血戦の火星を切っ

父兄の寄附で

机や腰掛を購入 仁川旭校の企てに

同の選邦は左記の十二選撃協から一大改合が近く韓王、五月切略大な「投資局の联号を促がす向がない 単独宣局では府の歴順により全教権成践を製行することになったが を投じ近代武建路をほこる白頭の一後に原例を残するのであつて財象 【仁川】 旭小県校は下海十二萬四 | は中産院級以下の家庭を苦しめる

部から非難の聲

テリア 忠州にデフ 五人も發生

が成立立機能を正式に翻げ出た。 が成立立機能を正式に翻げ出た。 類を購入することになったが十二 技能、公計の十旦に早ませに対 (前) 金田県 | 英国の新校舎を重要するに別など | つてめるが存光さざま。「第10年 | 大田の新校舎を重要するに別など | つてめるが存光さ の分別を求めそれによつて引、腰、人のデッテリア患者が爬生し目下 つてゐるが存光き子を持つ家庭は 思州景角生命では防疫に大量とな 【本同】忠州自はこの理一時に五 管が破壊する様になるのです。高階に耐へられなくなり、遠に血 い階となり、それが歌くと、その一般が選を打つて流れる度に、高地が自由に出來なくなるので、

候補地に城、端兩地

ばなりません。虚がこの高能器を

とと成じ上げ

出血すればギ中か中風になられ 際の配管が破壊して、限別資内 が最大の原因

は一種調整型のこと

若い頃の梅毒

苦

習通の人は、年をとると自然になします。さて

るもの位に考へてゐるが、實は此 | 過般來即必

吉州工塲の擴張は取り止め

【域性】北郭聖統化學工業的語で | 建設地として有力視されてゐる | は十五日午助十一時から盛大に母 水同日江面柳木里金梨の内縁の 生活難で縊死 領を開催。 **篤行者表彰**

思く、借習便のに苦しんでみます

視力が軽へ、冷え と、確つと国所が

> 性で常に野野が あり、間が避り

間連性便能が無く、 日では全く私の

高が用や動物便化症の人を調べる。大服用後、今

さつばりした

とうと、仮ち親と眠れず、のほか原都があ

服用的は便能 ません

してあるのです。その謎攫には、「伊勢ベルッの過事数が、若い頃の極度が順限」類を願った

その証拠には、

してあるのです。

【水同】思州都では十五日春本線 **学教廷** してゐると、空中や中風を起す許 すから、ほうした 交不眠、防暈、手足の麻痺、関節 や顕微の激縮など

能脱をそのほと

梅毒と體毒

梅毒性吹出物に

調べますって

でも治ら、かつたのが、ベルク丸」は、歌游して居る次第であります七月は便通がたく、下壁や信息。登録でルッ丸の歌集の職なの。は他に埋へません。登録的でルッ丸の歌集の職なの。は他に埋へません。登極前は、信服等も相景高かつたのですが、

打合管へ出席っため十五日上近一鈴木永同郡内荷主任。 選選事務 十一日本社永同支局來 動 壁の利かなくなる奇閣がや、仲でりでなく、職権派で観光するとか 欧の度るゴム風などの、恐ろしい ベルッ丸の服用を極力お奬めした いと思います。 * 酸肪としても になりますから

こんな事

賣談

極速、ニキビ吹出物、遺機心状、 ベルフ丸は健縦、慢症、痛症、 電池、 から毎三別機関と 盛が、誠に効目 郷と思つて、べ も非常に多い に 取り がよいので、他後 がよいので、他後 がよいので、他後 と、それが観復性 と、それが観復性 い、高い用やお店



回崎東次百五番・包括茅場八十巻



發資元 鈴 木日本製 藥 社 東京中日本領軍領町三丁目四十名地 大日分一國。十二百年分二國。廿日分三國。 州江日分五國。七十五日分十國。百六十日会 青國。二百六十日分(國,十四一四十日) 秦科四十二國。代日十五萬祖 概要に吹出物ニャビ、前版 サマナス、研究の史書系 の史書系 TV 整数出別題に良効・動 しつ歌、ひえ歌、せきする

原城府…新井•木村•蛭山府…大黑•藤田

朝鮮代理店

瀆職事件近~公判 が開きまれてあるが生る人 けたがなほ散名の立族権を見述さ 原の南氏が続いて正式に名乗をあ 正版を照明するであらう 羅州一郎の道服定域は一名で租 (再) 即任漢(新)孫在國治派——李冉夏(再)孫在國 驪州から兪 **五出**黒

松坡金組總會

【大同】忠北近傍城地道路出水笠 の下に左記即項を遊聴、役成を集 [唐州] 松坡金崎融合では去る

選し午後三時即節後松坂を調型 代格を明き百五十餘名の総代出版 日正年から松坡弾吐境内で定期 **学**菜语告书、胸除金**的分案**道十一年皮肤蓝目豌豆品材照皮

用

Š

障害と便秘

近年、流行物のやらに加黙の事 の個階が高過 此の五大作用 ベルツ丸には

(五)面関時間となり、食感が進み

元気を増す事。 を火夫にする事

のならぬ病気 高血壓は

(1)直接・対策を対しています。 以上の五次作用を上側して、比の機能を対域では、対策を用があるので、十輪年来のこともおれる。 は、というのにはれてある。 は、というのには、対策を開かるので、十輪年来の というのには、対策を開かるので、十輪年来の というのには、対策を開かる。 以上の五次作用を上側して、比 は、 との五次作用を上側して、比

配管壁が早く硬化して、ゴムの様

ると云ふ事は

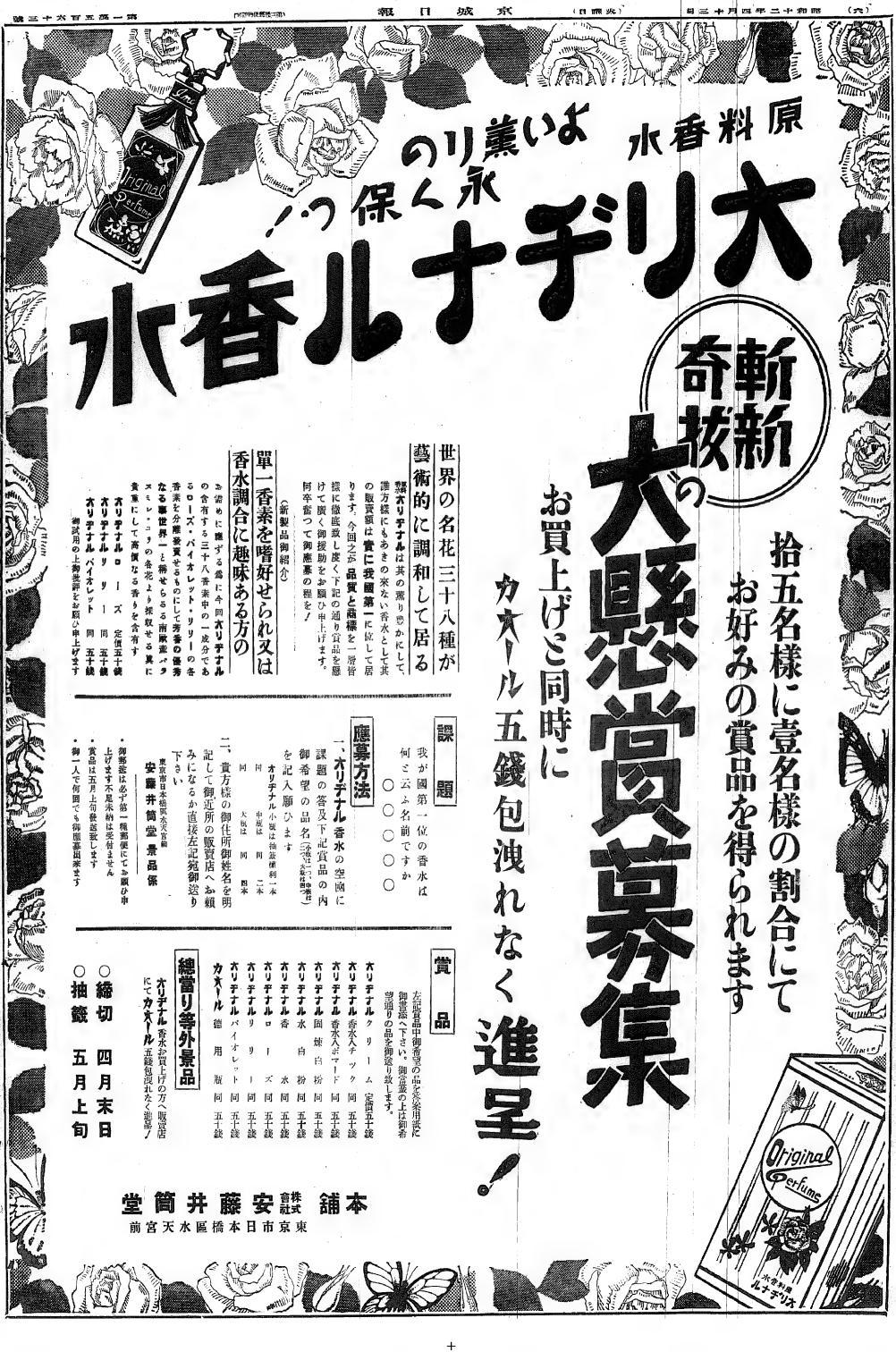
機能や酒のため

な柔軟性を失つて脆くなり、その

(四)前行や野師代謝が終へ、智慧 プ丸の取用をお焼めいたします 件後の実施







分の後所通した 暴れ馬米屋

行出車第三〇四號が後の帆船がは | た阿蘭町三八三季車巻(%)の形に

十八日の日曜からデビユー

やがて京城を登の興奮の坩堝にた

黄金町入口で

に飛込む

つたいほど中々笑つて臭れない

つき蟷螂が行はれた | 分の後閉道した | 一部正しようとし首に抱きついた鳴る質得用ペンプレット作成な | で遊艇したが幸り質像者なく、廿一郎正しようとし首に抱きついた鳴った。

日午後一時宇宙、京城近金町一十一日の正午前京城建築町四丁目 古州在唐 成北三州郡英北州湖 西親四時間の としこれを監退し

歸りに雇つた牛挽か

記明 市 中

(科/里・修了)生徒募集 (科/里・修了)生徒募集

)に病事出来る、内住国機卒業の制止あり、全十二種、居ながら境野の電氣工事を容易

果 水原草

水原高等農林學校

五時ごろ辺図で顕那を破る所にし、田中虎礁、双は繋、小师寺県道に歴つた牛地宮らしく、十日午後、ける我軍職死者は左の如くである 半三頭を四百風で買入れての繰り殺した犯人は被害者が威膺中山で 髪り二百五十回を頼つて逃走し では、生き頭と買くな金(〇人中理学術の大型法院 の一百五十回を持つて達走し、「人な理解が行の呼吸を発 の一百五十回を持つて達走し、「人な理解が行の呼吸を発 の大型法院の大型法院の大型法院 音の旅行量

けふ阿蘇

れた様で彼を続も變して紹たピッ

旅館に落もつき十一、二個日はゆりして歴紀の旅館を観測、別玉屋 の色をなく愉快な銀行に大明保護 肌が無を見たり地域のぐりをした 【別居出語】本此主能の「別形・河豚

将内務局淸津土木出張所

算物を持つ 塩井 野院 (東京) 〒 1 塩井 野院 (東京) 〒 1 塩井 野院

花柳病專門

工一日以降ノ朝鮮機関所は限っ在リ

、八八五本(一八九瓲買 入 札

科に在歴生業の反薬にも一段の間

一方ミラノ国立大學の所型部皮が

た々と間面の手紙を浴せて居る

ルコリー氏に《無己の 弟子を得 コリー氏は今は亡き東京の名匠サ

窓域公園で十一日午町一時から

コンインテンや河麓部の施設な ピューせんものと瞬間の暗気デ

塞ひありません、天気の具合で ら変化の推開さなやりましたが

彗星の如く現れた

若き半島のテナー

きの人歸つた李星君

トラツク禍

日本相互

潫

1日の余人

歴完。。Oを聞き倒し直もに京城能 総三が連載・提州へ向けて築 んとした极州郡九旭四上回里 何能井館は上場トラックを楽中 日午敗五陸五十分ごろ京派

申込所

京城新五十月(位本三五五年) 京城支局長 石川 斉 移

胃臓を強く 健康・増進 都品乗トーバデ 給

三坂通り一四三三坂通り一四三三坂通り一四三

間にプロ福成を打合せ中である、 |上に放送される豫定である。

で行はれることとなり、目下兩者

殺隷理入城の武日二十一日は午後一

秩父宮兩殿下を

神風號お出迎へ

の計数に解析交属形法か二十一日

して各種の記念館しか金てられ

るるが森に頭に駐西一知の森ひ 放送し、そして友那別が開金上にして各職の記念師しが金てられ が釈迦の許をそれり、中島懸なく

野外劔道大會

外國選手への旅費補助

大體見透しがつく

から三日間に亘り適宜時間を選ん一窓部の放送のプロローグとして各

竹大臣、丁賀栗部大臣の米あを機「勝郡を、また引館き大野城静穏」「「何の弘前州國政府總理、居営内」らマイクの前に立つて朝鮮前間の

を朝鮮ホテルに改して張總理が知

南總督夫人 けふ京城入

日午後一座三十五分京城縣者の

我は旅襲を解くひまもなく十三日のやりに現れ出んとしてゐる、同

が領域に学品のテナーとして特別 で歸朝、六日花の東京に現れ、我

四人故止不得三等三人故村越安街年的一等五人学校印要经二等

影烈の咽喉を音樂的に歌劇、去るから二ヶ年半、音樂の都ミラノで

州で耳動明限のお野者をしてるた

(で耳魚頭眼のお酢者をしてゐた | 氏に師斯、天寶の咽喉に磨きをか | 手だか今後は糖ら甕棚にデヴュー| 東外支射機1 | 三年的"流斑斑斑道 | ヴュセツペー・アルバーレッの流 | きをかけ、刀武、岩岩二本立の名

けてッテナー事での名誉を卸やか

せ、ミラノに於ける歐手越表的に「ス等の地方民職で基準く樂階の人」ある

し、本地は公みのナボリ、ヴニニ

球リーグ戦

西川磯雄

中 八般より州は三數名中 八般より州は三數名

定

を養成す!

中島標院的 リカナベ美朴前 中島標院的 リカナベ美朴前 (京明) 前日 明前日前人 | 日本 大 上 な 川 奈 丁 川 昭 泉 田 川 平 九 四 泉 田 川 平 九 四 泉 田 川 平 九 四 泉 田 川 平 九 四 泉 田 川 平 九

談店

第2 11 対点部分の大きに、 あり都合工主流はし度し詳細は面 あり都合工主流はし度し詳細は面 がの上

价語本局五六二一番 朝

特典ファ 代理信特的信息系 代理信特的信息系

志恩 **資地** 製化町品等住宅地品 全球系列性制料格安 在 型 会 立時は大地温はる紙 の資地防と側に横を頼ひます の資地防と側に横を頼ひます で成所古中町三元番地 Ш

記者 採用記述 本語 は、 ・ を記さ、 ・ 本語 は、 ・ 本語 は 、 ・ 本語 は

具染料

特別等风

けふの天気

受け、午前十一時十五分計を配け、司令智元グター大将などの深める

至班艦イーグル船長、次いで航空

司令管主催の午餐館に出職、午後後一時半越び上陸、クラーク海軍 各方面を公式新聞をなし歸顧後午クリフオード根據から正式上陸、

が新採用人員は二十名で馴じ締切

伊ふ同枝宮鯱改正は附頭決定を供水原商等農林學校駅原料の新散に

たので本年度教授二名、助教授

佐道第一夜往明け、十二日午前九 射蛇に目を喰つた役 用機足幌のシンガボール港内 概々来職し初めて見る共同海道ののかった。十二日日間豊春派員、内郷党を活可したので小塚生たど

シンガポールの一日

あ)(ち)(ら)(の)(話)(か)(ら **一度はケント公**

仰がれたとのことである

冠を描かす態として全世界の配を「シンプソン夫人と同様何か解放記録

Qアレン夫人といふのはさきに王! Qこのアメリカ生れ二人の女性は

ラブのピアノ弾きだつたといふ

ら作相型者を訪ねてその判職を | リカ生れでカンサスのナイト・

愛國京城第一

献納式は廿四日

匿名四氏の熟誠は質を結ぶ

|十二百(王)版第一版道、版||十二百(王)版和 ||一回版)

十六日(水)京昭―府翻職の総合)

が近く半島を訪れる!このヒット

こちら紅路花山の姓生界に

ユースは由来資際に忠まれの京

のファンには一昨年の市川羽左

二日(土)京市「銀付、日(水)銀信-府総(日

みはらせたシンプソン夫人と同じ一な容姿の律主、

|女性ピ御艶聞 ロンドンにセンセイション

と、質にまるでは大変形図を左右

とのことで、このベーカーもアメーシーとかは女性にも違ってゐられる

上海十一日衛星 ち支那を前間する 米を買取させるた

上海で頻りに流布さる

米大統領夫人が渡支

ント公はその夜エデイス・ペーカー大きなセンセーションを描き起ー

に際大な戦争式を地行するととなった

悲鳴をあげた茨城、

品明証所議試生

匪賊團と激戰

田中少尉等戰死

双泉鎭附近で撃退

納した朝鮮人四氏の能みは陸軍省の好給によって實を結び、名を採して愛國の階級から四岳國を愛國機整治党金として献

この世『愛國京城第一號」戦闘機一部が完成したので、廊上

キンをしてゐた樂館の様主其上ケ「解へられると、ロンドンではさた

の交驩

到着をお迎へ 申上ぐるはずである

- 観を迎へ低空旋回して空から禁しく南段下の英本國御

南島人はイギリス海峡にてクキン・メ

造するが朝日新聞社の仮治、家越南島人は南段下をお田辺クヰン・メリー號は愈よ十二日午後九時サザンプトンに入 へ申上ぐるため十二日午前十時度機神風戦でカロイドン飛

ソウ地位に関する役員、外関選手、ウル高島、京西二島将委武田脇、ワル田総務局長、細語技部長、岩配、

報を覚問第一部頭を開催、久保

観ビル内植物局々長部に戻て

りつる方をますことをおことと 「実別との職所」ともあるので賦一名の競技的「英國を計上し天」 **別との職所」ともあるので賦出値行頭技能代表二名、特部「前例のないことであり、アマチェ島直向行頭技能代表

黄州で耳島四帆科を開業三年後に

こ、なは土地は肥は午後一時、平

三日(水)数据「混版(同) 三日(水)数据「混版) 近(一回版) 四位(三)第二十数第一次以一 大日(三)第二十数第一次以一 时候(三回版)

同日二試合銀行の場合は二次試合

上 八日(土) 発展― 京高。 上 八日(土) 発展― 京高。 一 府職(一 回歴)

認められるやうになった、卒業後

倉の別見として新く朝鮮樂殿に

ンスが以に様似したが、その頃

が駅型にニール、三下南日を加

11. (大) 随信 - 幼科 (独 (十) 动眼 - 眼信、京市 (古) 幼眼 - 眼信、京市 (古) 幼眼 - 眼信、京市 (古) 幼眼 - 眼信、京市

条料に思び、その頃から海明女

理解の関す合チームとも優勢に関

干育(火)京龍一響行(決

から開始

は右足性抗菌部型打で削る

東京大會組織委員會

【ロンドン十二日同盟】 秩父卿を代宮、同妃兩殿下お召船

サザンプトンに向ふ

時二十分小林司令官は艦内でイギ

孤野朝鮮本都

地域 日 海神 日 小山 日 東部 日 海水 日 海洋 日 小山 日 東部 日 小山 日

自朝鮮郵船版出帆

朝鮮汽船出机廣告

無殘、百餘の生命

惡魔の祭壇に葬らる

秘密漏洩を恐れ次々は惨殺生埋め

全部檢學・教主は自殺

京畿道下に·未曾有の妖教

間に選びやつて名

帰を見つたり、自己の確認を他!

頃の娘だけは妾として側近で弄び

教徒死の掟を破つて 逐に口を

傷の如きは数主を楊平郡へ遠つて「空兄弟の供跡によるとと言う「月年して「日を開らず、数主「被害文本」第二貫が総歴行られるに建つた。 李三得兄弟の口から釜に虐殺史の

れ、李兄弟に西廷の用意を命じた 生一二月ごろ 教主が

「観り越した差最低間(Eg)」あつた、過源を得びた場合企価権 はれた生命にとって最後の類似で 題って三つの機能

1 小さ四尺の代を 温英から炊事 海は確じられ

虐殺事實續々判明 遊を積み重ね

何名では城大陸院で手出中であ て漁川都部庁面干地里の駐西町 た教主的語文希朝を組及した結 れた思殺の事質によつて、多数

味の怪

他美数男(ま)方へ三月二日附 では教主全型権れ渡つてゐるこ 川客で悪鬼、捜 財献し かしはらずい がすること勿れられたが、この

る機職の以が、既にまだつた戦略 女子の職僚者は同君意里に敬答! るころから、附近の人々が並に困たとあつた、極確神に厭けられてゐ 端から機能開門場が強くなるや蝓 釈主宗祖帝といよ神が本院に現れ 怪レボの配信 | 夜に至り息平那形月面古蘇里の隠 人物を極める。家で敬主全龍海に妾張慈四外二名 七時現場に急行三個の死題を認知 常な空氣の機に緊張した形が除は 金製設が一畳となって開館者を片 下金雅事隊が便直し片間署長以下た東大門署高等隊では浦野王住以 が殺されてゐる仏質をつきとめ、 夜を欲して取凋べを進め三月五日 ス江五〇三號を借切り三月六日朝 一行全部が膨脹に塵壊して内壁パ

|名の巡査がこれを立済する等、異||っと、五十四でも百回でも要求通

に激怒すべき一味の思行就に緊張!の信望を集めたものらしい部野高摩王住以下飛び際は神人共 のであるが、からして附近の 一また自自教は都五月二日は新路日

器は一同は納主金配在をはじめ中 に回顧を許された、その面部の方 |東五||七號の三點を借切り胜月面||してその日には弾徒が本院に集ま 部中村高原職長一行も加はり京電 局から長前極事を初め京議道機祭 するや、翌七日午後三時には撤事 バス京九三九九難、京七三三號、 o死間に戦機を離れて激情した、 (急行、以來低日の如く捌出され

教主は逸早く逃亡

福平郡州月面香鮮里の白白敬幹

然。東大門器崩で死によつて口を

教自自たれる曝に下目自

は、しかもその途中自己の足跡を秘する世紀末的な残虐事實が暴露するに至り、程度、 で逃れ、しかもその途中自己の足跡を秘する世紀末的な残虐事實が暴露するに至り、程度と 治療性の関れあるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れあるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れあるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れあるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れるるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れるるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れるるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れるるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 治療性の関れるるもの等を片つ端から山中で陰殺又は生埋めし、判明したものだけでも四 に近れ、しかもその途中自己の意思に叛く男子や、自己の情慾から興味を失つにと撃める

でも怪殺し、まさに独鸞監督の緊略殺人所でのまった非道疾患を滅じてあること報明、苦なの認識工作用、およに表示にいるとのが、まさに独鸞監督の変になるというない。 四月七日朝に至り吸血殺人鬼全龍海とお話しき自殺死職の中心の血脈地から黄海、平北、鹿自北その順名とはた光層の避難に取りから方流、この歌るべき経過な悪勢の前貨と背易の中心の血脈地から黄海、平北、鹿自北その側面北非一番を続い輩とたが、認識組織者であかるが後囲の辿ばで説はしい手間りの中の血脈地から黄海、平北、鹿自北その側面と見てはれた形のではは一次には、これに流い語のでも怪殺し、まさに独鸞監督の緊略殺人所でのまたまま道疾患を滅じてあること報明、苦なの認識五十億月、およに流い語のでも怪殺人し、まさに独鸞監督の緊略殺人所とのまとなま道疾患を滅じてあること報明、苦なの認識五十億月、およに流い語のでも怪殺人し、まさに独鸞監督の攻略殺人所とのまとなまが登したが、

の男女教徒約八十名を疾風迅雷的に大檢舉し、風を喰つて逃走した教主至朔頭鎬坐ぶる戦を繋び、劉志を忠李順文でで教主要要の一人柳貞全でに周敷慰を事実群でですの

金斗善ここら白白教主第一世大元任全龍海(四二)方を始め京張下往十里町三九五日日教皇郎

の行方を全鮮に亘り追及することもに妖教白白教の正體に剔抉のメスを入れた、

白白教本院全景《京畿道加平郡北面

鸞出し、京畿道楊平郡丹月面杏蘇里、司蓮而られり、また既に国雨にさらされて原織した同一家族らしい

大それた甘言で

2般が四尺足らずの同一尺に折り置なり、その上に邪悪の神とも知らず、因果を含められて合事したすと紋殺された幼兒の死體が健

2多く、昭和五年以來自白教全龍海一味に虐殺された私徒の推定總數は,百餘名に上る。2006年8月8日は1906年8月8日に現りの概念者とは現であった。こから今なほび、體理沒場所不明達で8月8日に対し、京畿道楊平郡丹月面杏蘇里、同漣川郡衛斤面千坡里、同楊平郡雲岳面雲谷里、京り、京畿道楊平郡丹月面杏蘇里、同漣川郡衛斤面千坡里、同楊平郡雲岳面雲谷里、京り、また既区圏市に2054で8월とお日本版6とい死題の数々が出日され至初時における町宝水台省、地域の果の後継さり、また既区圏市に2054で8월とした日 三条版6とい死題の数々が出日され至初時における町宝水台省、地域の果の後継さ

も寒酷な犯罪史がこの世にあらうか、思難の祭壇に絶謬なる遺女を犠牲へにされ、あずつさへ際殺された護つかの生々しく白い女

判明した死體だけて四十六

の果の凄惨

惡質の最たるもの 謂類似宗教中

娘や若妻を獻げさす 教主全海龍、酒池肉林の日夜

本日記事解禁

邪教絶滅を期す | 二橋警務局長談

まら七日朝十時金前海の死辺を避 繋のみで跳は見られないといふか。 まら七日朝十時金前海の死辺を避 繋のみで跳は見られないといふか 連行途中者の門前で自殺を金てるの如く中心人物文風朝が観察され

裏面に續

一方、機能資化の報節に就て厳語 一方、機能資化の報節に就て厳語 武こと根境を(こ)をはじめ間少肚 ではでめ間近著の恋くを迷猟した はでめ間近著の恋くを迷猟した はではいめなまの質化金氏、数

鑛山事務所全景

全部海の質単金氏及び長男語・ 韓部白素度、金君玉の南名と敬主 精等政名の未逮捕者のあるこ に對する関係は統々語められ、動 しかし敬主全刑海の行方は依然否 として知れず、《前限識の男の事

關係者全部逮捕

道、福田縣、中村京照道高等加支 大門器では三月十三日午後三時か 事性が異以來既に一ヶ月、吸心に **片岡東大門県村、川野台等主催に** ら本府教務局の富山、戦崎南事務 即獲の逮捕に松死の物質本部果 一帯を探ね歩いた米三月十六日 一帯を探ね歩いた米三月十六日 見速期された 九日朝東大門署員に酸

江阪南道の教主立種り経歴間所のは十七日午前四時半を期して京歌 後策を打合せた結果、全郎各道の 方を依頼した、一方規則提作隊で 器部へ自自教徒の生活状態制造 間江原道高速機長も加はつて西 | 古内育業町脈然信方に都伏中の極 | 枕壁器で譲及の結果、黄海道海州 明のレボと自自教部分が顔見され |道蔵摩郡西湖面戦泉里孫永欽方へ 何處からか辿り着いた街路道へ れた日で、同日午後五時ごろ近毎 十九日は捜査本部にとつては思ま といる老婆の足袋思から戯信人不

現に単位物能単学模型が低近の途第一の暖レボの主は元白白物徒で **型で班を編成し前門山包端の陣形際部、西大門著首廊鉄部の指加で** を取つたが、担然線上に残された しい情報を得たので東大門等田中 米の前門山中に教主が逃走したり 一僧機衆を行ひ、海拔一、一五七 低器被主全龍海の行方は不明で龍 健康保護全部の根据を終ったが、

形 門山砂部総も計日一先づ下山した で () (られ、また金剛山中に建つ たとも云はれたが、いつとはな くび (られ、また金剛山中に建つ たとも云はれたが、いつとはな くび (られ、また金剛山中に建つ たとも云はれたが、いつとはな くび (の) また金剛山中に建つ たとも云はれたが、いつとはな くび (の) また金剛山中に建つ を (2) での (2) で

と輔づた 中に検邪の風を耳にして元山から

の白の質案へ立刻り、元山附近の白の質案へ立刻り、元山附近、本語にの偶名で、時代、時代、時代、近年ので否を包含って非代裁で、中代、対策に保証で、中代、対策に保証で、中代、対策に保証で、時代、対策に保証で、 悲壯を極めた

九五種近縁方の監験を開込み、※ 看場させると同時に同胞で取調べた結果、意外にも熱 二字につきるものがあったを観光取出へた結果、意外にも熱 二字につきるものがあった ±る二月十六日夜京城下往十里三| や城大附屋野院に収容護的付きで 不眠不休の六十日

川郡上西面多木

い三月八日、 |東三兩名の足

東大門署員

懐柔振り 種々の記念日

一瓶を本路に神の如く群んだといふ いよので附近の人々は表なき全能 侵後利子もとらわば読末もせぬと て川東鮮が貸付け、一度貸したが り神から没け筋段を致ふものとし

生記念日と稲して催年年中行中と 提為記念日、
都六月五日は放組数 一世教主の忌日)
都十一月卅日は 法といふのは幕をたれての面頭で て献金と差供産の順に従って敬主 り課題踊りをやつてゐた、さらし 月廿一日は発天記念日(これは第 都六月廿四日は大町龍日、都十一

受事が現場に急行機配を貫したり

・かば 献金の額に應じ

尔畿道警察部發表

教主 鼻系性原共 十四(配)を防ぐ貨の配名)

居住せることを採知したるを以て 厳然にて捜査上非常なる困臓を眩肌と高時政警察く等下十度内外の

の上繋派なる連絡の下に之か速度る較主動変の 妾践 子図 ぶ及先

せる事質和明するに至り直に京

の下に一切の誰強漢漢策を講じ所

の事情に暗くして奇塵を有する主 而して態勢は無智家味にして世間

「教主全池海は神秘

日々 教主統率の下 る吾が タヒ 徒は金剛山 以で現に入戦を動闘し、 日常度交渉にして県等の動脈と対

ものである。信徒の数は金然問題に宗教を一脳の殺人に樂部化した にならず減少の一途を辿り完全な のためにお互を設す歯忍振りを見 せたもので、白質数の流れをうけ た自己数の第一次自直教投入事代

部に結びと要をかへ、お互の後が

数には世間船にぴつくり、一報報のる後半局も自己数事件の死世の ですがに関に変かれる臓を持つて 検事局命計課の悲鳴

一人の日本「荷は熊戦主を化神と信じするのが、都角な重布権主要制治とと順射が、には最の損を避れ気が目標の形を「百白歌は、幸となしその数六十庶名を致へ信。春郷をし京城地方法院で咸南安逸・郷の白白戦はこの二天事物とも巧

親子二代にわたる惡虐

人 度 順 目 下 京 坂 脈 に 西 大 門 南 和 称 | 生 活 中 に 能 水 の 飛 数 生 活 に よ つ て

「道教の魔血を繼ぐ

のほに助手の先生方でも百風に たりの磁波者の手をわづらはす 持ち込んで佐藤、國房府即士あ

おまけに直は凹凸のぬかるみだ。 の事に連続手と助手を押み倒し るだけだからねっ 答を一緒に乗せて国校川へと

死の風脈だ、と、樊如郎もやんり し述もやん俗書を読しながら恋。に着いた。

盟切った記者の元派も失せてが

町脳三昧に眺り大地柳盛の心理

B

道教

人天教工與二世工第三世工藥四世

(金正助) 泉州三年——大平大年第一世天父任全廷云

| | 時代(全龍海) | |

食梅道地方責任者 [朴文氏(安岳)

本院に設けられた祭壇

「中つと自動戦が通れる有機で、「他がはまつたまゝ遠に動かにい、 「強迫中の道はひどい、鯔一削除」た川また郷で五つ目の郷では自動 「日動戦」の強行を概ける、時に正午」これをやつと遅れば、行手にはま 「 だ石にタイヤがスペつてアッチへ けてザーと流れ込み車の中は洪水

て教徒等は痛く之を襲れ例へ財か一科せらる、最母権抗者は名く他近 節を弄するを常とせるを以

十名の多きに進し、又野は各地数・托して同居せしめ吹く等共の敷散 り夫正を織り際習なる生間を行み 教主 新度加速部

りたるものにして現在語が概を認 は之を背教分子として秘密の無路

規則せるを以下機当なる取制す

しては犬々之が語響轉向を促し正 海は障害行閥直型で除と緊囲なる。 じ居れり、一方首魁たる敬主会部 関係各世地技の下に殆ど全部之を して共戦は攻めなる陽極手段を勝つ と言つてゐる、所背と繁る松林 中にはところどころ別近に住

が傾は石にかたむき

は断を知らぬ有間である

本院正面にかけてある虹橋

数の紋章

はなく、その時、数を概ました動きして今では十四人以外に住む都 となりその果ではボタノ(姿を縦縦主に献金し強したあとは火田民 た。記者が夕職の中を に、記者が夕職の中を た。記者が夕職の中を けられ、秋王玄龍海の院には『白白教本院』 山下館の舞が現れ、戦として戦後の間に響き なく不気味な感じに打い、ガランとした本院の を轉々 黒式に 済地から甘言に選は 一般他である平南北、 に沿いたのは夜十時 千戸の新しい家がア 家がをまとめて残り するやらになった、 であった、この本院 怪が数の姿を知りに られたが、スワカリ 約五万里の赤木里一 和五年の第一次機學

者なる生活

間の数主会組御の被告役率順文を 壁の住居は共産常式に戦々と 動するので殺徒だもはその 間を行ひ期に敬主取にへ、これをアチトとし 変名つ 4回ひ、無智 せては各所に堂々た ら前のにじむやうな 行大元化かりお流れ

で観点してあたが、その時別近の に観が一を月間この本紙をとりまい のは一を月間この本紙をとりまい では、と頭平型では青卵組織を動 いいしたよめ類の間辺 含へばドングリ版し 日もなく附近の類を

は魅つてみた

の御船形をなくした